

答え合わせ・解説

問1	答え 1 秋田県	秋田県は八郎潟の干拓などに代表されるように、大規模な稲作が盛んな地域です。そのため、耕地全体（田と畑の合計）に占める水田の割合が非常に高く、統計上も八十七パーセントを超える顕著な数値を示しています。他の選択肢にある長野県や宮崎県などは、畑作や果樹栽培の比率がより高くなる傾向があります。
問2	答え 1 日照不足や気温の低下を招き、稲の生育を妨げて冷害の原因となる。	やませは低温で湿った風であるため、厚い雲や霧を伴います。これにより、稲の成長に必要な日照時間と気温が不足し、開花や結実が不十分になる「冷害」を引き起こします。1993年にはこの影響で記録的な米不足となり、海外から緊急に米を輸入する事態となりました。
問3	答え 1 青森県（りんご）	東北地方において、果実の産出額が他の県を圧倒して高いのは青森県です。青森県はりんごの生産量が日本一であり、全国の約半数のシェアを誇ります。選択肢にある山形県（さくらんぼ）や福島県（もも）も全国的な産地ですが、産出総額において青森県りんごは非常に大きな規模を持っています。なお、長野県もりんごの産地として有名ですが、東北地方ではなく中部地方に属するため、統計の対象から外れます。
問4	答え 1 やませ	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧が発達すると、そこから冷たく湿った北東の風である「やませ」が吹き込みます。通常は一時的なものです。1993年のようにこの風が長期間吹き続けると、厚い雲に覆われて日照時間が不足し、気温が上がらないため、稲作に甚大な被害（冷害）を及ぼします。これに対し、冬に山を越えて吹き降ろす乾燥した冷たい風は「からっ風」と呼ばれます。
問5	答え 1 やませ	初夏から夏にかけて、オホーツク海から吹き出す冷涼な気団の影響で発生する北東の風を「やませ」と呼びます。この風が長期間吹き続けると、東北地方の太平洋側を中心に気温が上昇せず、日照時間も不足するため、農作物の生育が妨げられる原因となります。
問6	答え 1 県庁所在地の仙台市は人口100万人を超える政令指定都市であり、市街地には地下鉄が走り、豊かな街路樹が見られる。	宮城県の県庁所在地である仙台市は、東北地方で唯一の政令指定都市であり、約109万人の人口を抱えています。交通面では、1982年に開通した東北新幹線の駅が県内に4駅設置されているほか、仙台市内には地下鉄も整備されています。また、美しい街路樹が立ち並ぶ景観から「杜の都」とも称される都市の特徴を持っています。
問7	答え 1 農業生産額全体に占める米の割合が非常に高く、米を主軸としながら野菜や畜産を組み合わせた生産が行われている。	秋田県は全国有数の米どころであり、農業生産額において米が占める割合が非常に高いのが最大の特徴です。単に米だけを生産するのではなく、農業経営の安定のために野菜や畜産なども取り入れた「複合経営」が行われている点も重要です。他の選択肢にあるような畜産特化型（鹿児島県など）や果実特化型（青森県など）とは統計上の数値構成が明確に異なります。
問8	答え 1 風力発電	東北地方の日本海側や沿岸部は、年間を通じて偏西風や季節風などの強い風が吹きやすいため、風力発電所の建設に適しています。地熱発電は奥羽山脈などの火山がある内陸部、水力発電は水流の落差が得られる山間部に多く立地するため、地図上の分布場所（沿岸部か内陸・山間部か）によって区別することができます。
問9	答え 1 南部鉄器	盛岡駅がある岩手県では、旧南部藩の領地であったことから名付けられた南部鉄器の生産が盛んです。岩手県は鉄資源に恵まれていたため、古くから金属加工技術が発達しました。津軽塗は青森県、樺細工は秋田県、天童将棋駒は山形県の伝統的工芸品です。